

# WCS用稲をトラックでバラ積み輸送し飼料基地で調製する低コスト作業体系

圃場と飼料基地の輸送時間が片道20分以内の場合、飼料基地で調製する体系が低コストとなる

## 研究開発の背景

- ・水田の有効活用や輸入飼料高騰等の問題へ対応するため、WCS(ホールクロップサイレージ)用稲の収穫・調製の低コスト化や効率化を図り、「たちすずか」等の長稈で多収な品種に適した作業体系を構築し、WCS用稲栽培面積のさらなる拡大を促す。
- ・上記の目的のため、WCS用稲をトラックでバラ積み輸送し、飼料基地で調製する低コスト体系をWCS用稲へ適用する。

## 研究成果の内容

### 輸送時間が片道20分以内で低コストとなるWCS用稲収穫・調製体系

WCSとは、作物の茎・葉・子実(籾)を全てきざんで密封・発酵した牛のエサであり、稲WCS(稲発酵粗飼料)を作るためのイネをWCS用稲(飼料イネ)という。



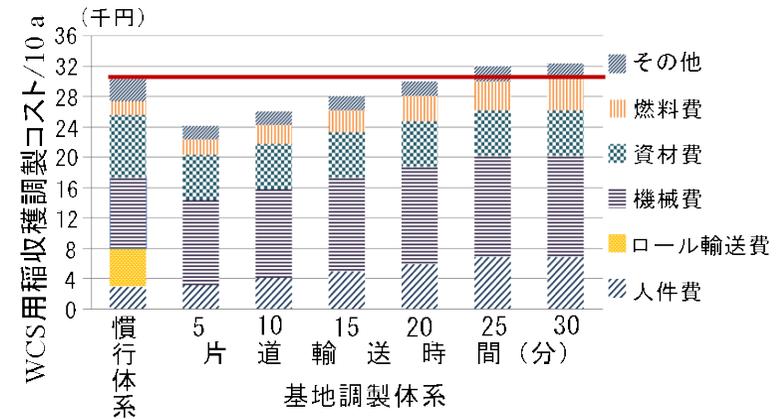
### WCS用稲の基地調製体系



【参考情報】ワゴンタイプ収穫機は多様な長稈作物に対応し、平成28年春市販予定。



導入メリット



基地調製体系は、圃場と飼料基地の輸送時間が片道20分以内で低コストとなり、多様な作物に対応可能なメリットがある。  
 ※50ha規模での試算を10aあたりに換算、ロールペール(直径1m幅0.85m)収量平均9個/10a収量を想定。  
 詳細は『高糖分飼料イネ「たちすずか」等に対応した収穫調製支援マニュアル』(2014年3月刊行:近中四農研センターホームページトップ>技術マニュアルよりダウンロード可能)を参照。  
[http://www.naro.affrc.go.jp/warc/original\\_contents/tech/index.html](http://www.naro.affrc.go.jp/warc/original_contents/tech/index.html)

## 期待される効果

- ・WCS用稲の収穫・調製コスト削減により、栽培農家および畜産農家の所得向上に貢献。
- ・WCS用稲の栽培面積拡大により飼料自給率向上、水田の有効利用、農村の活性化へ貢献。

### 導入をオススメする対象

全国のWCS用稲収穫作業者(法人、コントラクター)、畜産農家、農業協同組合、公的機関、水田転作地域、耕作放棄地対策地域